



## 令和元年度 中間決算について

令和元年 12 月 24 日  
本州四国連絡高速道路株式会社

令和元年度（第 15 期）中間決算についてお知らせします。

### I 決算概要

1. 令和元年度 事業概要
  - ① 高速道路事業
  - ② 関連事業
2. 令和元年度 経営状況  
連結決算の概要  
(参考) 個別決算の概要

### II 決算資料

1. 連結決算
  - ① 中間連結貸借対照表
  - ② 中間連結損益計算書
  - ③ 中間連結株主資本等変動計算書
  - ④ 連結注記表
2. 個別決算
  - ① 中間貸借対照表
  - ② 中間損益計算書
  - ③ 中間株主資本等変動計算書
  - ④ 個別注記表

※当社の中間決算は、金融商品取引法に基づいて作成したものではなく、情報開示等の目的で任意に作成したものです。

# I 決算概要

## 1. 令和元年度 事業概要

### ① 高速道路事業

- ・本四高速道路をお客様に「安全」「安心」「快適」にご利用いただくため、道路巡回、路面清掃、適切な情報提供などの管理に努めるとともに、舗装補修、長大橋塗替塗装、橋梁耐震補強、大規模修繕等の工事を計画的かつ効率的に実施しています。
- ・当中間期の通行台数は、前年同期比 4.1%増の 2,302 万台となり、料金収入は前年同期比 3.7%増の 346 億円となりました。
- ・独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構への道路資産賃借料の支払額は 244 億円となりました。



ケーブル補修(神戸淡路鳴門自動車道)



橋梁耐震補強(瀬戸中央自動車道)



舗装補修(西瀬戸自動車道)

### ② 関連事業

- ・お客様サービス向上のため、SA・PAにおいて各種イベントを実施するとともに、施設の整備・充実を実施しました。
  - 瀬戸内しまなみ海道開通 20 周年記念セール等のイベントを実施
  - 鴻ノ池 SA において、24 時間利用可能なベビールームを新設
- ・長大橋の建設・管理技術を活用して、JICA（(独)国際協力機構）、地方公共団体から長大橋技術支援業務等を受託しました。
- ・地方公共団体から高速道路上における跨道橋点検業務等を受託しました。



瀬戸内しまなみ海道  
開通 20 周年イベント(大浜 PA)



ベビールーム(鴻ノ池 SA)



長大橋技術支援(愛媛県)

## 2. 令和元年度 経営状況

### 連結決算の概要

(単位：億円)

項目	令和元年度 中間決算	平成30年度 中間決算	増減		令和元年度 通期見込み ※	平成30年度 決算	
			増(△)減	対前年 増減率			
営業収益	高速道路事業	378	346	31	9.2%	772	748
	料金収入	346	334	12	3.7%	667	654
	道路資産完成高	30	11	19	165.9%	100	91
	その他の売上高	0	0	0.02	3.1%	4	2
	関連事業	22	14	8	54.0%	56	58
	休憩所等事業	9	9	0.6	6.6%	18	16
	受託事業等	13	5	7	130.9%	39	41
	401	361	40	11.0%	828	807	
営業費用	高速道路事業	360	326	33	10.3%	773	750
	道路資産賃借料	244	227	16	7.0%	474	463
	道路資産完成原価	30	11	19	165.9%	100	91
	管理費用	86	87	△ 1	△ 1.6%	198	195
	関連事業	19	11	7	62.0%	50	51
	休憩所等事業	7	6	0.4	5.8%	14	13
	受託事業等	11	4	6	142.6%	36	38
	380	338	41	12.1%	822	802	
営業利益	高速道路事業	17.7	19.7	△ 2.0	△ 10.2%	△ 1.1	△ 1.6
	関連事業	3.7	3.0	0.7	23.0%	6.5	6.6
	21	22	△ 1	△ 5.7%	5	4	
経常利益	22	24	△ 1	△ 4.9%	8	7	
中間(当期)純利益	15	15	△ 0.4	△ 2.5%	6	4	

※令和元年度通期見込みについては、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。

(参考) 個別決算の概要

(単位：億円)

項目	令和元年度 中間決算	平成30年度 中間決算	増減		令和元年度 通期見込み ※	平成30年度 決算	
			増(△)減	対前年 増減率			
営業収益	高速道路事業	378	346	31	9.2%	772	748
	料金収入	346	334	12	3.7%	667	654
	道路資産完成高	30	11	19	165.9%	100	91
	その他の売上高	0	0	0.01	2.5%	4	2
	関連事業	13	6	6	111.1%	39	39
	休憩所等事業	2	2	△ 0	△ 0.1%	4	4
	受託事業等	10	3	6	176.3%	35	35
	391	352	38	11.0%	810	787	
営業費用	高速道路事業	358	322	35	11.1%	773	749
	道路資産賃借料	244	227	16	7.0%	474	463
	道路資産完成原価	30	11	19	165.9%	100	91
	管理費用	83	82	0.4	0.4%	198	194
	関連事業	12	6	6	101.3%	38	39
	休憩所等事業	2	2	△ 0.01	△ 0.8%	4	3
	受託事業等	10	4	6	153.3%	34	35
	370	328	42	12.8%	811	788	
営業利益	20.5	24.3	△ 3.8	△ 15.7%	△ 1.1	△ 1.5	
関連事業	0.2	△ 0.1	0.4	—	0.5	0.6	
(△は損失)	20	24	△ 3	△ 14.1%	△ 0.6	△ 0.9	
経常利益	21	26	△ 4	△ 16.8%	1	2	
中間(当期)純利益	15	17	△ 2	△ 16.3%	1	1	

※令和元年度通期見込みについては、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。

## II 決算資料

### 1. 連結決算

- ① 中間連結貸借対照表
- ② 中間連結損益計算書
- ③ 中間連結株主資本等変動計算書
- ④ 連結注記表

### 2. 個別決算

- ① 中間貸借対照表
- ② 中間損益計算書
- ③ 中間株主資本等変動計算書
- ④ 個別注記表